

八尾市健康日本 21 八尾計画及び食育推進計画審議会 第 1 回会議 会議録

日 時	令和 6 年 1 1 月 2 1 日（木）午後 2 時～
場 所	八尾商工会議所 3 階 大ホール 2
出席委員	磯委員（会長）、上野委員（副会長）、白井委員、竹山委員、稲垣委員、豊口委員、鈴木委員、中浜委員、福平委員、森本委員、井上委員、岡委員 【オンライン】角野委員
欠席委員	川崎委員、西村委員、木下委員、鷹津委員、中川委員、福森委員、横井委員
事 務 局	北村保健所長兼健康まちづくり科学センター総長、高山理事、湯本健康福祉部次長、大和保健企画課長、岡堂保健衛生課長、友田保健予防課長、橋本健康推進課長、山本健康保険課長、西澤こども健康課長、植田健康福祉部参事兼健康まちづくり科学センター所長、高尾健康福祉部参事

○事務局

それでは定刻となりましたので、ただいまから、八尾市健康日本 21 八尾計画及び食育推進計画審議会第 1 回会議を開会させていただきます。

委員の皆様方におかれましては、ご多忙中のところ、ご出席を賜りましてありがとうございます。私は本日の進行を務めさせていただきます、八尾市健康福祉部参事兼健康まちづくり科学センター所長の植田でございます。何卒、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。We b 参加の委員におかれましては、Zoom の設定についてカメラは ON、マイクはミュートの設定にさせていただき、発言されるときは、マイクを ON にさせていただきますようお願いいたします。また、オンラインを併用しての議事進行には十分注意しておりますが、環境設定や進行等で委員の皆様にご不便をおかけする場合もあるかもしれません。委員の皆様におかれましては、ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

本日の審議会につきましては、委員 20 名中の過半数以上がご出席いただいておりますので、八尾市健康日本 21 八尾計画及び食育推進計画審議会規則第 6 条第 2 項により、有効に成立していることをご報告いたします。なお、本審議会につきましては、本市の「会議の公開に関する指針」に基づきまして公開とし、会議録を作成するため、会議の内容を録音させていただきますので、よろしくお願いいたします。

また、委員の皆様には、当審議会委員にご就任いただきまして、あらためまして厚く御礼申し上げます。今後、本年度中の中間評価における答申の確定までよろしくお願い申し上げます。なお、委嘱状につきましては、誠に申し訳ございませんが、時間の都合上、机上配布とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

さて、本市では、平成 30 年 10 月に「八尾市健康まちづくり健康宣言」を發布、令和 4 年 3 月に「八尾市健康まちづくり計画」を策定し、「みんなの健康をみんなで守る 市民が主役の健康づくり」の基本理念のもと、「健康寿命の延伸」「健康コミュニティづくりの

推進」を基本目標として、健康づくりの推進に取り組んでおります。

本審議会は、市長の附属機関として、健康増進法に基づく健康増進計画である健康日本21 八尾計画、及び食育推進法に基づく食育推進計画の策定に係る調査、分析、研究及び検討をいただく審議会でございます。皆様の忌憚なきご意見を賜りますようお願い申し上げます。

まずはじめに「八尾市健康まちづくり宣言」を唱和させていただきたいと思います。皆様、お手元の資料「八尾市健康まちづくり宣言」をお持ちになって、ご起立をお願いいたします。まず、私が宣言の前文と5つの本文を読み上げます。皆様は本文の「ひとつ、」の部分から、私に続いてご唱和をお願いします。

(八尾市健康まちづくり宣言の唱和)

○事務局

それでは、委員の皆様のご紹介をさせていただきます。私からお名前をご紹介させていただきますが、ご紹介の順番につきましては順不同となっておりますので、よろしくお願いいたします。

(委員の紹介)

○事務局

次に、欠席のご連絡をいただいております委員をご報告させていただきます。

なお、欠席されております委員より、当審議会の議決に関し、会長に権限を委任する旨の委任状をいただいておりますので、あわせてご報告させていただきます。

(欠席委員の報告)

○事務局

委員のご紹介は以上でございます。

審議会の開催にあたりまして、本来でありましたら大松市長よりご挨拶申し上げるところではありますが、大松市長は、子ども家庭庁の三原大臣の要請を受け、国のモデル事業に採択された本市のいじめ防止の取り組みについて説明するため、急遽上京することとなり、出席ができません。市長からメッセージを預かってまいりましたので、司会より代読させていただきます。

○大松市長あいさつ【代読】

本日は「八尾市健康日本21 八尾計画及び食育推進計画審議会」の開催に際し、大変お忙しい中ご参集を賜り、厚く御礼申し上げます。

本市におきましては、平成30年10月に発布した「八尾市健康まちづくり宣言」のもと、科学的根拠に基づく健康づくりを推進するため、令和3年4月から保健所内に健康まちづくり科学センターを設置し、令和4年3月には、「健康日本21八尾第4期計画及び八尾市食育推進第3期計画」を策定。このたび、本計画の計画期間の中間年を迎えるにあたり、計画に基づいた中間評価を行います。

日本は、生活環境の改善や医学の進歩等により、平均寿命が飛躍的に伸び、世界有数の長寿国となりました。しかし、近年では急速に高齢化が進む中、認知症や寝たきり等で介護を必要とする人が増加し、医療・介護の社会的負担が深刻化するとともに、食生活や運動不足など、社会環境や、個人の生活習慣の変化により、がん、心疾患、糖尿病等の病気にかかる人が増加しております。このような状況において、健康に生活できる期間である「健康寿命」を伸ばしていくことが喫緊の課題となっています。

本市は、これまで、健康まちづくり科学センターを中心として、「みんなの健康をみんなで守る 市民が主役の健康づくり」を基本理念のもと、「健康寿命の延伸」及び「健康コミュニティづくりの推進」に向け、大学等との共同研究により市民の健診・医療・介護等のデータを分析し、科学的根拠に基づく健康課題の抽出や健康づくり施策を検討・推進するとともに、八尾市健康まちづくり共創協定に基づく公民連携の取り組みの推進や、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施を開始するなど、市民に対して広く健康づくりの施策展開を図ってきたところです。

加えて、来年4月に開催される大阪・関西万博におきまして、「未来の食・文化・ヘルスケア」をテーマとする展示や、ステージの場であるフューチャーライフエクスペリエンスでの、本市の展示が決定しました。

万博会場におきましては、「健康寿命延伸」をテーマとする大阪大学との共同研究の成果を体験いただく展示を予定しており、展示内容につきましては、コミュニケーションデザインの視点を取り入れるため、横浜市立大学コミュニケーションデザインセンターとも協力し、現在取り組みを進めているところです。

委員の皆様におかれましては、本市の計画に基づく取り組みにつきまして、それぞれのお立場から忌憚のないご意見を賜りまして、実りの多い会議となることへのご協力をお願い申し上げます。誠に簡単ではございますが、ご挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和6年11月21日

八尾市長 大松 桂右

○事務局

続きまして、当審議会会長及び副会長の選出を行いたいと思います。会長等の選出につきましては、審議会規則第5条第1項の規定により、委員の互選によるとなっておりますが、委員の皆様よりご意見等はございますでしょうか。

(委員より「事務局一任」の発言)

○事務局

ただいま事務局一任との発言を頂きました。それでは、事務局からの提案といたしましては、会長に磯委員、副会長に上野委員をお願いしてはいかがかと考えております。皆様、よろしければ拍手をもってご同意を頂戴いたしたくと思いますがいかがでしょうか。

(委員の拍手承認)

○事務局

ご承認いただきありがとうございます。では、磯会長、上野副会長、よろしくお願いいたします。会長、副会長、どうぞ前の席にお移りください。それでは、磯会長よりご挨拶をお願いいたします。

○会 長

ただいま、会長に指名いただきました磯です。計画の審議につきましては、広範囲にわたる中間評価の結果であります。皆様からの様々なご意見をいただければと思います。よろしくお願いいたします。

○事務局

ありがとうございました。続きまして、上野副会長よりご挨拶をお願いいたします。

○副会長

上野です。よろしくお願いいたします。計画策定時から本審議会に参加させていただいております。八尾市は、健康まちづくり科学センターで緻密なデータの分析を行っていたり、保健センターを中心とするまちづくりを目指していたりと、特徴的な市ではないかと思っています。今後ますます健康づくりが活発となるよう、皆様のご意見を頂戴したいと思っています。

○事務局

ありがとうございました。それでは続きまして、大松市長に代わりまして、北村保健所長より磯会長に諮問書をお渡しさせていただきます。

(諮問書の読み上げ、手交)

○事務局

ありがとうございました。それでは、次に事務局職員の紹介をさせていただきます。

(事務局職員の紹介)

○事務局

続きまして、本日使用いたします、事前にお配りしております資料について確認をさせていただきます。

(資料の確認)

○事務局

それでは、ここより会長に議事の進行をお願いいたします。磯会長、お願いいたします。

○会 長

それでは、議事に入らせていただきます。お手元配付の次第に従い、事務局より順次説明願います。なお、質疑については、議事に係る事務局からの説明終了後に設けたいと考えておりますので、よろしくをお願いいたします。それでは、まず、議事（１）について事務局より説明をお願いいたします。

(事務局より（１）健康まちづくり計画の中間評価について説明)

○会 長

ただいまの事務局の説明に対し、委員の皆様、何かご質問やご意見はございませんか。資料２―３の基本目標・基本項目についての質問はございますでしょうか。

では、たばこについては、受動喫煙の割合が減っていることから、受動喫煙に関する法律の効果が出ていると思います。ただ、COPDという言葉を知っている人の割合が50%から40%へ減っています。一般の方々に喫煙ががんの危険因子であることの理解はされていても、循環器疾患やCOPDの危険因子であることまでは知られていないと思います。八尾市としてはCOPDに対してどのような啓発をされようとしていますか。

○事務局

庁内ではポスター等の掲示を通して啓発を行っておりますが、まだまだ周知できていないのが現状です。また、平成27年度の調査より悪化しているため、今後も様々な機会を通して啓発していきたいと考えています。

○会 長

COPD が横文字のため一般の方には分かりづらく、日本語訳でも慢性閉塞性肺疾患と難しいため、「たばこによって肺が壊れてしまう病気で、最後は酸素不足で苦しくなって亡くなる病気である」等、キャンペーンや教育素材のなかで分かりやすいメッセージを使って啓発することが必要ではないでしょうか。喫煙があらゆる病気につながることを強調して啓発してほしいと思います。

また、アウトプットである動画の配信数は目標に達しており、要介護認定者も少ない傾向にあるということで、この部分は非常に良い傾向だと思います。地域の健康づくりイベント等に参加したい割合に関しては低下しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響も含めて評価をしていくということで理解しました。ただ、若年層と老年層との世代間交流が乏しかったり、若年層が地域のイベントやまつりに参加しないという問題もありますが、この点について委員の方からなにかご意見はございますか。

○委 員

少しづれませんが、栄養についてお話をさせていただきたいと思います。野菜を食べている人の割合が変わらない、塩分を多く含む食品を控えるようにしている人の割合も変わらないとなっているのですが、その割に循環器系の健診結果の数値は改善されているため、表立っては何もしていないように見える方も、実際には気を付けていらっしゃるのではないかと思います。

食に関心を持つ、食を知る・学ぶの部分については数値の改善がみられおり、食品ロスに気を付けたり、地産地消を心掛けたりされている方が多いのではないのでしょうか。ただ、それを実践するとなると、近年の物価高の影響もあり、野菜を思うように摂取できていないのではないかと思います。意識は上がっても行動に移せていないのは、そういった社会情勢があるのではないのでしょうか。

○委 員

八尾市の状況がよくわかる資料だと思い拝見しています。

会長よりご質問のあった COPD に関連して質問させていただきます。資料 2－3・4 ページ目に「喫煙が及ぼす健康被害について正しく知っている人の割合が全体的に悪化している」とあり、5 ページ目のアンケート問 12 が該当する質問になるかと思いますが、この問いは肺がん・COPD になりやすい、心臓病・脳卒中・胃がん・妊娠への影響、歯周病と 7 項目を含んだ質問になるかと思いますが、COPD だけではなく、その他 6 項目も含めて正しく知っていないという結果になっているのではないのでしょうか。COPD 以外の項目でも認識が非常に薄かった項目や高かった項目、7 項目の中で差があった等の傾向が分かれば、今後の重点項目の参考になるかと思いましたので、もしご存じであれば教えていただきたいです。

もう一点、先ほど生きがいや地域活動の話が出ていましたが、知らず知らずのうちに健康になれるまちづくり、地域の力を使った健康づくりが重点項目に入っているということでしたので、生きがいや地域活動に参加している方の指標がかなり連動していると思います。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、他者の生きがいに対しては介入しづらい部分でもあるかと思いますが、今後どのように上げていくのか、施策があれば教えていただきたいです。また、2018年に八尾市と大阪大学の共同でアンケート調査をさせていただいた際には、65歳以上の高齢者約16,000人の方にご協力いただき、生きがいの指標として生きがいを測ることができる指標を9項目入れて実施しました。生きがいの指標が高かった方は、その後3年間の健診結果において高血圧の割合が低かったり、HbA1cの上がり幅が少なかったり、その他の健康指標も非常によく保たれていました。生きがいや地域参加の指標は今後の介入においても重要ですし、現在の指標としても他の健康項目に関わる重要な指標だと思いますので、新型コロナウイルス感染症を経て、今後どのように取り組んでいくのかを教えていただければと思います。

○会 長

新型コロナウイルスの影響も大きいかと思いますので、次回の最終アンケートの際に考えていただくことにしましょう。

○委 員

月に1回市民を対象に講演会を実施しています。健康に対しての意識が高い方が多く、先日は北村保健所長にフレイルの講義をしていただきました。運動や社会参加、食事はもちろんのこと、食育への関心、地産地消への意識を持っている方が多いのですが、八尾市健康づくり大作戦の冊子を見ると「3人に2人は血糖値が高い」となっています。申し上げたように意識が高い方が多くいらっしゃるので、この冊子に特定健診受診の重要性をしっかりと記載していただきたいと思います。どうして冊子には書かれていないのでしょうか。

○事務局

八尾市では国民健康保険の被保険者を対象に特定健診を実施しています。特定健診の受診率は33%程度となっており、国の目標の60%には到達していませんが、庁内関係課や三師会の皆様のご協力をいただきながら、受診率の向上に向けて取り組んでいます。特定健診受診の重要性についても、しっかり啓発を行っていきたいと考えており、健康保険課のデータにおいては、40～50歳代の受診率が低いことが課題として挙がってきていることから、若い世代の受診率向上に向けても取り組んでいきたいと考えています。

○会 長

「3人に2人は血糖値が高い」とする定義を教えてください。

○事務局

「HbA1c 5.6%以上」を基準としています。

○委員

ほぼすべての項目で数値目標を掲げておりますが、がん検診受診率の項目においては「増加」とされていると思います。目標値を設定しない理由があるのでしょうか。がん検診の受診率は、大腸がんでは8.4%が8.5%になっただけで「増加」と判断され、目標達成となっていますが、どうでしょうか。

○事務局

計画策定時はコロナ禍の影響を受け、健診受診率が大きく減少しましたが、令和4～5年度にかけて、やっと令和元年度と同じ水準まで回復してきました。国は目標値60%を掲げていますが、国や府が掲げる受診率につきましては、国民への意識調査のなかで「がん検診を受けましたか」という設問に「受けました」と回答した割合になっています。この中には市町村が実施するがん検診のほか、職場や人間ドックで受診した数字、記憶違いによる回答も含まれています。今回の評価で使用しているがん検診の受診率につきましては、市が実施した検診分のみを計上しており、人間ドックや職場の検診の受診状況は把握できない中で、100%の受診率や2倍、3倍などの安易な受診目標をあげることは適切ではないため、「増加」という表記にしました。

○会長

将来的には医療DXの流れで八尾市のNDBだけでなく、協会けんぽの健診データを含めたすべてのデータを統合していくことができれば、目標値が設定しやすくなると思います。

続いて、「塩分を多く含む食品を控えるようにしている人の割合」が低下していますが、外食・中食によって、知らず知らずのうちに塩分の摂取量が増えていることもあるかと思います。健康づくり大作戦で糖尿病予防を進めていますが、塩分を多く含む食事を摂ると喉が渇き、ジュース等の糖分を多く含む飲料水の摂取量も増え、糖尿病のリスクを上げることが分かっています。塩分の摂取を控えるとともに、糖分の摂取も控えてもらえるような啓発が必要であると思います。

次に歯科保健の項目について、「歯磨きを毎日する人の割合」が全年代を通して良い傾向となっていますが、今年度を実施した「ポケモンスマイルではみがき大作戦 in 八尾」はどういった事業なのでしょう。

○事務局

株式会社ポケモンと共創協定を締結し、ポケモンスマイルに関する素材の無償提供をい

ただくとともに、八尾市歯科医師会のご協力により、事業を実施しています。小学3年生約2,000人を対象に、本事業の通知と塗り絵台紙を配付し、1か月間、自宅で歯みがきを行い、塗り絵台紙を30日分塗り、すべての塗り絵が塗り終わると、八尾市歯科医師会に協力をいただいている「協力歯科医院」で歯みがきチェックを無料で受けることができます。併せてお子さんの歯みがきチェックの際に、保護者の方の無料歯科健診の受診勧奨も積極的に行い、子どもの歯科保健の向上とともに、保護者の歯科健診の受診率の向上も目指していきたいと考えています。また、正しいブラッシング方法については、日本歯科医師会監修のポケモン社のスマートフォンアプリの使用を推奨しています。

○会 長

朝食を食べない人の割合や1日30分以上かけて食事をしている割合については、糖尿病や循環器疾患の予防にも影響してくると思いますが、いかがでしょうか。

○委 員

朝食摂取の大切さをこれだけ啓発していても、なかなか改善できない部分について残念に思います。本学においても朝食を欠食する学生がおり、食堂で朝食を提供すると食べに来ることから、意識はあっても行動に移せない人が多いのではないのでしょうか。小学6年生以上になると、自分で朝食を用意することができる年齢だと思いますので、「家で朝食が用意されていないから」という理由で欠食するのではなく、金銭的な問題はあるかと思いますが、自分で朝食を用意できるような啓発も考えていくべきなのかと悩んでいます。

○会 長

八尾市内には子ども食堂はあるのでしょうか。

○事務局

子ども食堂はありますが、設置数や取り組み数は手元資料になく、今、回答しかねる状況です。

○副会長

一点目、健康づくりと福祉分野の連携は土台となってくるので、今後は福祉分野の部分をもう少し強化できればと思います。

二点目、人は知識を得て、行動変容につながっていくかと思いますので、項目として知識の部分と行動の部分を分けることができれば、知識と行動を関連づけてデータ分析することができ、より分かりやすくなるのではないかと思います。

三点目、アンケートでは地域性の部分を見ており、今後の働きかけとしてコミュニティを大事にした健康づくりが重要であると思います。どのコミュニティにどういった問題が

あるのかといった部分が見えてくると、働きかけが具体的になってくるのではないかと思いますのですが、いかがでしょうか。

○事務局

基本方針3における地域における健康づくりを推進しており、計画概要版の中に記載があるステップに基づいて、地域担当保健師が小学校区ごとに地域特性に応じた健康づくりを進めています。ステップ1では健診や介護・医療のデータを小学校区ごとに分析した「あなたのまちの健康診断」を用いて自治振興委員会、地区福祉委員会、校区まちづくり協議会の方々へ当該地区の特性を地域担当保健師が説明し、ステップ2として特性に基づいた取り組みを実施しています。令和4年度からは地域活動も活発になってきていますので、既存の行事や情報誌への寄稿等の様々な機会を通じて健康づくりを進めています。地域の特性のなかで朝食の欠食率が高い地域や肥満率が高い地域については、ふれあいまつりやカーニバルといった地域の事業のなかで、地域担当保健師がその課題に対する取り組みを地域と一緒にしています。

○会 長

地域によって習慣に差があるのであれば、地域担当保健師がそれを把握することはとても重要ですし、重点的に取り組むための資料になるかと思いますが、アンケートは地域ごとに集計しているのでしょうか。

○事務局

地域ごとの集計も持ち合わせていますが、様々なクロス集計をしている兼ね合いで、全項目の公開はしていません。

○会 長

まだご意見をいただいていない委員の方々にご意見を頂戴したいと思います。

○委 員

食事という部分におきまして、就学前児童の健診に従事した際、学校給食に携わっている先生へ最近の物価高で給食への影響はどうかとお聞きしたところ、内容は変更できないため、量を減らしているとおっしゃっていました。お子さんにとって学校給食は3食のうちの大事な1食にあたるわけですが、量を減らさざるをえないというところで、教育委員会での対策やお考えはいかがでしょうか。

○事務局

あいにく教育委員会及び関連部署の出席がないため、現状が分かりかねます。

○委 員

薬剤師会では、学校薬剤師がたばこやアルコールについて、実際に脳の写真などを見せながら講義を行っておりまして、事後アンケートの結果でも「よく分かった」という回答が多くあり、「家族にも伝えます」と書いてくださっていました。学校薬剤師として、今後も引き続き啓発を実施していきたいと感じています。

また、先日の健康展において「フレイル予防」の啓発を行いしましたが、フレイルという言葉の認知度の低さを感じましたので、今後もしっかり啓発を行っていただきたいと思います。

○会 長

「フレイル」は昔「虚弱」と言われていましたが、概念が広すぎるため、「フレイル」という言葉が生まれました。カタカナで難しく聞こえてしまうため、継続した啓発が必要であると思います。

○委 員

生きがいや趣味を持っている人の割合についてですが、コロナ禍で地区福祉員会や小地域ネットワーク活動などが中止になりました。人数制限を設けて徐々に運営を再開し、5類移行後は全面的に再開しましたが、コロナ禍の数年間の影響は大きく、一度参加しなくなった人が戻ってくるのは簡単なことではなく、コロナ禍前に戻ることは正直難しいと感じています。

また、地域福祉活動の担い手不足が深刻な問題と認識しておりまして、本会の地域福祉グループやボランティアセンターが中心となり、検討を行っているところです。

○会 長

若者が集うSNSのコミュニティのなかで八尾市のイベントの発信や呼びかけをしてもらえるようなインフルエンサーを見つけて、健康づくりに活用することはできないでしょうか。

○委 員

若い人はPCやスマートフォンを使って、会議の開催から議事録の作成まですんなりできてしまいますが、高齢者は地域のスマホ教室に参加して、まずは電話のかけ方・受け方から覚えていくというところで、デジタル機器に順応できるよう一生懸命取り組んでいます。高齢者はもともと機械に対する苦手意識がありますが、わずかながらも参加して下さるメンバーが増えてきていますので、継続していく意味はあるのかなと思います。

○委 員

体育振興会は八尾市の体育施設の運営管理を行っていますが、各団体が行うスポーツ教室のほかに、体育振興会の職員がお子さん向けのスポーツ教室も開催しています。また、妊婦さん向けのヨガ教室や、ママになってからのエアロビクス教室なども開催しています。体育振興会としては、小さなお子さんからご高齢の方まで、市民のみなさんが健康で元気に暮らせるように活動しています。

○委 員

地元の地域では月に1回「いきいきサロン」として、1食100円のモーニングをやっています。コロナ禍は休業されていましたが、最近家族で久しぶりに参加してみました。高校3年生になる息子を連れて行ったところ、「若い子が来てくれた」と参加者の方々が大変喜んでくださいました。ご高齢の方はお一人暮らしをされている方も多いので、もっとご近所の方や色々な世代の方を誘いながら、横のつながりを広げていきたいと思いました。

○委 員

主人が町会長をしています。コロナ禍のなかで地域のつながりが少なくなってきたと思っています。地元の地域では、年末の夜警を希望者で行っています。健康づくりももちろんですが、まずは地域の横のつながりが大事だとコロナ禍を経て強く感じました。

○委 員

農協としましては、食育の部分について今後ともご協力させていただきたいと思います。

○会 長

子ども世代から高齢者までの結びつきについては、八尾市は他の自治体に比べて強いと思います。健康づくりに関しては、これからの部分もありますが、目標に達している部分もありますので、次の目標達成に向けてぜひご協力をお願いしたいと思います。

厚生労働省の委員会でも伝えていることですが、一生を通じての保健事業のなかで、例えば妊産婦健診や乳幼児健診の保健指導の際に、両親や祖父母等も含めた家族全員の健康づくりについての助言を、一言でもいいので伝えることは重要と思います。

○委 員

共創協定で企業の力も活用されて取り組みを進めていることが素晴らしいと思いました。何か課題が出てきたときに、一過性のイベントとして起爆剤になるような取り組みをして、市民のみなさんの関心を集めたあと、その取り組みを継続していかに定着させるかが重要だと思いますので、イベントとしての取り組みと、日常に定着した取り組みをそれぞれ評価できるような指標軸があれば、より課題の改善につながっていきやすいのではないでし

ようか。

もう一点、八尾市では小学校区ごとにデータ分析をされているというところで、課題が出てきやすい地区がどうしてもあると思います。地域住民の方ご自身が、自分が住む地域の健康課題を把握して、自分事として一緒に課題解決に向けた取り組みに参加していただいていることはとても良いことだと思いますので、この取り組みを可視化できるようにしてはいかがでしょうか。他県での事例もありますので、手上げしてくださった地域で競争をさせて、褒賞を出したり表彰したりすることで、地域の強みを活かしながら、健康づくりを活性化させることができると思います。また、庁内連携の取り組みとして、高齢者と子ども・若者が一緒にできるイベントがあればいいなと思いました。全く違う対象者を組み合わせるような重層的なイベントがいくつかあると、今現在されている取り組みが地域全体・八尾市全体に広がりやすいのかなと感じています。

○事務局

一過性のイベントと日常に定着した取り組みという観点については、「ポケモンスマイルではみがき大作戦 in 八尾」が該当する取り組みになるかと思います。この取り組みにおきましては、継続して実施していくとともに、令和9年度の最終評価のアンケート時に今年度の対象者が小学校6年生となって、アンケート対象者にあたりますので、そこで継続評価を行っていきたいと考えています。

○会 長

そのほか委員の皆様から、ご質問やご意見はございませんか。それではただいま委員の皆様から頂きましたご意見を事務局で取りまとめて頂き、次回の審議会におきまして、答申（案）として委員の皆様にご提示して皆さまからご意見を頂いたのち、審議会答申として確定したいと考えますので、ご協力をよろしくお願いします。

他にご意見がないようでしたら、次の議事に移らせていただきます。（2）その他について、事務局より説明をお願いします。

（事務局より（2）その他（次回会議日程等）について説明）

○会 長

事務局からの報告は以上ですが、委員の皆様、そのほかに何かご発言はございませんか。ご発言がないようですので、これをもちまして、第1回会議を閉会させていただきます。委員の皆様方には、議事進行にご協力いただき、ありがとうございました。それでは進行を事務局にお返しします。

○事務局

本日は、長時間にわたりご審議いただきまして誠にありがとうございました。それでは、閉会に当たりまして、八尾市保健所長の北村より、ご挨拶をさせていただきます。

○北村所長

八尾市健康日本 21 八尾計画及び食育推進計画審議会（第 1 回会議）の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。本日は、熱心なご討議をいただきまして、ありがとうございました。また、事務局の不慣れな点もあり、ご質問に十分にお答えすることができず、ご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

学識経験の先生方や、各分野での委員の皆様よりいただきました健康に対する貴重なご意見につきましては、事務局にて整理をいたしまして、計画の目標達成に向けた案を明確にして次回の会議にてご説明させていただきたいと思いますので、何卒よろしくお願いいたします。

○事務局

以上をもちまして、閉会とさせていただきます。本日はありがとうございました。